

市民に愛される病院をめざして

1 日本初の自治体統合病院誕生

▽建替えの時期到来、医療の進歩に対応できない
(掛川病院 昭和59年建設、袋井病院 昭和54年建設)
▽医師不足に端を発する病院経営の悪化

- ▽平成18年 両市で「今後の市立病院のあり方検討委員会」発足
→「新病院は広域的に考えるべき」と提言
- ▽平成19年12月 「掛川市・袋井市新病院建設協議会」発足
→新病院の将来像、規模、建設場所、経営形態、建設時期について協議
- ▽平成21年7月 「掛川市・袋井市新病院建設事務組合」設立
- ▽平成25年5月 中東遠総合医療センター開院



中東遠総合医療センター

2 新病院の特徴と旧市立病院との比較

★新病院診療機能のセンター化(特徴的な機能)

- 【救急関連】 救急センター: 救急専門医を中心に24時間365日の救急対応 救急病床12床配置
ICU・CCUセンター: 重篤な患者さんの治療を行う集中治療室を10床配置
心・脳・血管内治療センター: 心筋梗塞や脳卒中などの循環器疾患に対する専門医療を実施
- 【診療機能】 手術センター: 手術室11室を整備
脊椎・脊髄センター: より負担が少なく、専門性の高い治療を実施
内視鏡/血液浄化センター(透析)/睡眠医療センター/認知症疾患医療センター
- 【検査機能】 PETセンター: 微小ながんを発見するための検査機器(PET/CT)を中東遠地域で初めて導入

【高度医療機器】 リニアック(放射線治療装置=がんのピンポイント治療)

項目	中東遠医療センター	掛川市立病院	袋井市民病院
診療科目数	33	18	19
職員数 (旧病院:H24.4.1現在) (新病院:H25.9.1現在)	正規767人(医師84、看護師487、医療技術120) 非常勤203人(医師12、看護師75、医療技術21) その他171人 計970人	正規423人(医師49、看護師266、医療技術71) 非常勤193人(医師11、看護師74、医療技術20) その他125人 計616人	正規335人(医師30、看護師201、医療技術54) 非常勤54人(医師2、看護師13、医療技術9) その他80人 計389人
救急対応	救急センターの開設 時間外救急診療 救急担当医1名 ICU担当医1名 内科系、外科系医師各1名 と専門医呼び出し、土日祝の昼間は小児科1名	時間外救急診療 内科系、外科系医師各1名 と専門医呼び出し	時間外救急診療 内科系、外科系医師各1名 と専門医呼び出し

3 24時間365日の医療継続を行う災害拠点病院

- ▽建物の安全強化
「免震構造」の採用、天井・外壁の落下防止
→南海トラフ巨大地震への対応
- ▽災害時建物機能を転用
トリアージ・処置スペースの確保、
入院ベッドの増床(500床→最大800床)
- ▽ライフラインの確保
電力: 2回線受電、非常用発電設備(1,000KVA×2基)
水: 3日分の水を備蓄+敷地東側に配水池(+3日分)を設置

4 開院直後に寄せられた来院者の声

待ち時間等	施設・設備等
①会計の待ち時間が長い 機器の増設人員増員により短縮に努めました。	①外来待合、院内の案内表示が小さくて見えにくい モニター設置、掲示板を増設しました。
②採血・採尿検査に時間がかかる 人員の増員により短縮が図られました。	②正面玄関が雨天時には滑りやすい カーペットを設置しました。
③診察の待ち時間が長い 業務の効率化により徐々に改善しましたが、今後も改善に努めます。	③外来で利用する車いすが足りない 増設いたしました。
④受付案内の音が聞きにくい マイクを使用して改善しました。	④来院者駐車場の区画表示が欲しい 中央通路区画表示板がありますが、今後検討します。

応援メッセージ

救急車の対応が良かった	若き医師、優しい看護師のみなさまに元気をもらった
食事がおいしく、ホテルに行ったような気分	救急搬送時でも無理なお願ひに対し優しく介護してくれた

5 市民が育てる病院

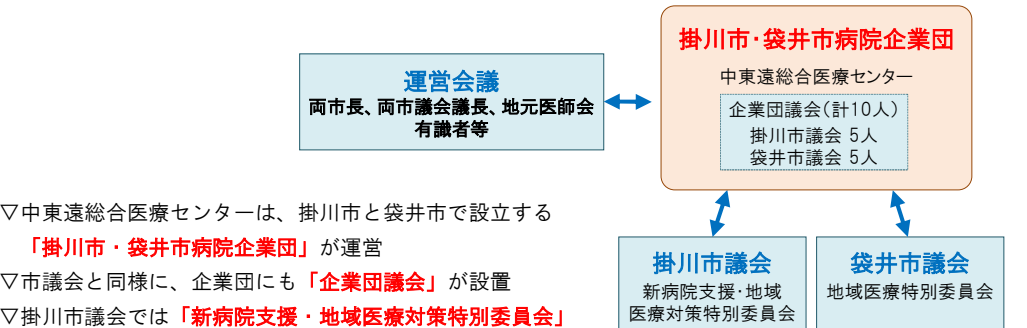
地域医療を守り、育てためには病院や行政の力だけでなく、皆様の協働の力が大きな支えになっています。

<活動内容>

- 車いす介助、車寄せから総合案内までの案内 ■案内: 受付機、自動精算機作業
- 環境: 病院周辺の環境美化作業 ■図書: 図書・情報コーナーの管理
- 展示: 図書・情報コーナー掲示場所への絵画等の展示 ■軽作業: 人間ドック検査キット等の封入作業等

ボランティア登録数 H25.8.1現在
115名(一般73名、高校生42名)

6 市民と病院をつなぐ市議会の関わり



▽中東遠総合医療センターは、掛川市と袋井市で設立する

「掛川市・袋井市病院企業団」が運営

▽市議会と同様に、企業団にも「企業団議会」が設置

▽掛川市議会では「新病院支援・地域医療対策特別委員会」を設置

掛川市の地域医療連携体制

～住み慣れた地域で最期まで安心して生活できるための医療体制～

- 目指す姿**
- 病病、病診連携の推進
 - 開業医・施設等まで繋がる共通治療計画の普及
 - 電子ネットワークを活用した医療情報共有化の推進
- 課題**
- 電子化に対する開業医の意識やIT技術に対する知識等、ハードルが高い

- 目指す姿**
- 医療者、患者に選ばれる中核病院
 - 生活へ繋げることができる退院支援
- 課題**
- 医療スタッフの安定的確保
 - スキルアップ研修の確保
 - 退院支援体制の確立

- 目指す姿**
- 開放病床、高度検査機器等の共同利用
- 課題**
- 開放病床活用に対する開業医の利用意識及び病院の受入体制

- 目指す姿**
- 開業医のチーム化等、相互支援体制の拡充
 - 往診・訪問診療等、開業医の在宅医療への積極的参加
- 課題**
- 在宅医療活動へ意識差

- 目指す姿**
- 医療スタッフの働きがいのある地域づくり
- 課題**
- 情報発信、事務局能力の向上

f.a.n.地域医療を育む会
住民目線での意識啓発

— 高度医療(静岡県全域) —
浜松医科大学付属病院
聖隷浜松病院、聖隷三方原病院
県立総合病院、県立こども病院、
県立がんセンター等

— 医療連携(中東遠圏域) —

- ✚ 磐田市立総合病院 (がん・周産期・救命救急)
- ✚ 菊川市立総合病院 (精神・家庭医療・回復期)
- ✚ 市立御前崎総合病院 (回復期・療養)
- ✚ 公立森町病院 (家庭医療・回復期)
- ✚ 袋井市センター化構想 (開業医支援・回復期・療養)
- 他 民間12病院

急性期病床
亜急性期病床
回復期病床
療養病床

医療法人社団 綾和会

- ✚ 掛川北病院
- ✚ 掛川東病院

- 目指す姿**
- 在宅医療、看取り患者の一時的入院等、バックアップ機能の充実
- 課題**
- 医療依存度の高い患者に対する短期入所等、家族支援策や在宅医療支援体制の不足

- 目指す姿**
- 総合支援体制の構築
 - 24時間対応可能な訪問看護、訪問介護の充実
- 課題**
- 住民への意識啓発、広報の強化
 - 訪問看護師確保が困難

- 目指す姿**
- 健康に責任を持ち、医療を大切にできる住民性
 - かかりつけ医をもち、適切な受診行動が取れる
- 課題**
- 在宅看取りに対する家族意識の啓発と家族支援体制の確立

- 目指す姿**
- 待機者の解消
 - 地域密着型サービスの拡大
- 課題**
- 利用者増による介護保険制度への負担増
 - 施設整備が困難

二次医療
入院、高度検査、救急

✚ 中東遠総合医療センター
地域連携室

病診・病病・後方連携

脳・心血管内治療センター
救急センター
ICU・CCUセンター(集中治療室)
PETセンター(がんの早期発見)
認知症疾患医療センター
地域医療再生支援センター 等

一次医療
通院、訪問診療、往診、看取り

✚ かかりつけ医・薬局

地域包括ケア(在宅医療支援・在宅介護支援・生活支援)
地域医療推進課、保健予防課、福祉課、高齢者支援課

ふくしあ 訪問看護S/T

施設利用
介護施設等
特養、老健等

